

震災にも負けずに初優勝 ダボ5個もハンディに恵まれ

《第24回ハンディキャップ競技九州大会》女子の部
～グリーンランドリゾートゴルフコース

ネット68（ハンディ17、グロス85）

上野 美香（八代、52歳）



スタート時には心地よい秋の天候だったが、次第に風が強くなり、雨も降り出す。ホールアウトしてクラブハウスに戻って来る選手からは「寒い、寒い」の声が途切れない。そんな中でグロス85をマークして、ハンディ17を生かし、上野が初の頂点に立った。「まさか、です。最近2カ月ほどは思うようなゴルフはできていたんですが。やっとドライバーやショットが安定してきました」と穏やかな笑顔を見せる。

本人によると、打ち急ぐ傾向があり、それがミスに繋がっていた。「知人に教えてもらったりして、考え方を変えたんです。間を取るみたいなの」。タイミングのいい時期にこの大会に参加。内容はノーバーディーながら10個のパー、3ボギー、5ダブルボギーの85。ベストスコア75から考えると、不満も残る。「上がり3ホールの3連続ダ

ボがいけません。せめてボギーにしておかないと」と反省する。

ゴルフは「仕事も落ち着いて、同年代の人もやっていたので」と40歳から始める。「やるからにはうまくなりたい」と競技ゴルフは5年前から。八代市内で宿泊施設を営しており、今年7月には熊本地震に見舞われる。大きな被害には遭わなかったものの、気の重い日々は続いた。そんな時に助けてくれたのがゴルフだ。「練習で気晴らしができたし、知り合いと話したりすることで思いつめることもなかった。ゴルフをやって良かった」と感謝する。

初の全国大会。「楽しむしかありません」。得意のアプローチで名門・愛知CCに挑む。

苦手なコウライ克服し初V

念願のジャパン出場

《第24回ハンディキャップ競技九州大会》男子の部
～グリーンランドリゾートゴルフコース

ネット69（ハンディ5、グロス74）

藤井 茂樹（麻生飯塚、66歳）



藤井は女子の上野以上に驚いた。「いやあ、思いがけず優勝しました。前半のアウトで30cmを外した時はガックリ。いいスコアが出ずにガックリです」と前半の1バーディー、4ボギー39のスコアに肩を落とした。

ところが、である。インに入ると、潮目が変わる。10番で2mを決めると、12番では8mのバーディーを沈める。18番では8ヤードを56度でチップイン。後半は4バーディー、3ボギーの35で回った。「4バーディーは想像つかない」と首をひねる。苦手のコウライグリーンを手なずけたのが奏功。「不思議なグリーンでした。感覚的には芽のないコウライとでも言いましょうか。白っぽくてベントタイプのじゃりじゃりのないコウライでした」と藤井は独特の表現をした。頭の中から苦手意識が払拭されたのが勝利への道となったのだろう。

パッティングはクロスハンド。さらに、最近では30ヤードまでのアプローチもクロスハンドに変えたところ、スピンもよくかかり、ピンに絡むようになる。「パットと同じ感じで打てる」と、こちらも優勝を後押しした。

福岡県飯塚市出身。現在は「農業をしています」と言うが、元々は県庁職員。ゴルフは30歳の時に同僚に誘われて始めた。年間70～80ラウンドをこなし、得意なクラブはU6。「安定してコントロールしやすい」というのが、その理由だ。

念願の全国大会出場。今年6月の九州ミッドシニア（伊都）では、決勝ラウンドに残りながら54位タイで代表権を獲得できなかった。「ジャパンに行きたい、とずっと思っていた。違う形で思いがかなった。友達にえばらんとね」と胸を張った。

《グリーンランドリゾートゴルフコース》



